

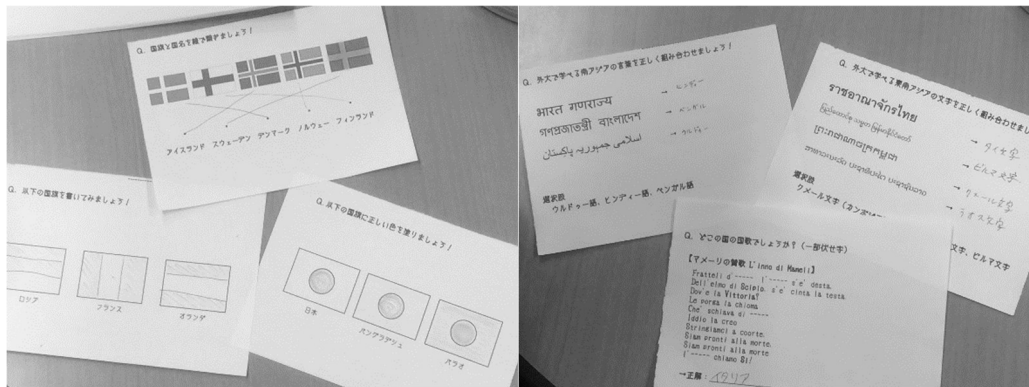
2015/2/26 11:00~15:00 推薦生の集い

文責：神谷亮平 (TuCoS)

2月26日、円形食堂に今年度の推薦入試合格者6名(1名途中参加)と学生委員4名を集めて推薦生の集いを行った。

推薦生と学生委員それぞれがゲーム方式で自己紹介を行った後、学生委員が生協の仕組みやTuCoSの活動(『虹』編集、外新歓、その他学生企画)について紹介を行った。その際TuCoS紹介の材料として持参した機関誌『虹』には、推薦生の多くが見入っており、過去号を持ち帰ってくれた方もいた。

生協とTuCoSの紹介の後にはアイスブレイキングとして、推薦生とTuCoSの新2年生部員が4対4のチームに分かれてクイズ大会を行った。世界の国や国旗、文字などを題材とした問題について、チームで考えを出し合う過程でそれぞれの親交が深まったように感じられた。



↑出題したクイズの例。左は世界の国旗に関するもので、右は世界の文字、国歌に関するもの。

クイズ大会が終わると、推薦生を1階食堂へ案内し、メニューを見た後それぞれ昼食を注文してもらった。食事の傍ら、部活・サークルや大学での勉強、また辞書やパソコンなど、大学生活について推薦生の質問に答えたり、学生委員自らがアドバイスを行ったりした。



↑食堂のメニューに見入る推薦生らの様子。

食後は食堂を出て、大学会館から図書館、アゴラ・グローバル、管理棟、研究講義棟、サークル棟に至るキャンパスツアーを実施した。プロメテウスホールや研究講義棟の大・中教室、共同研究室など、普段授業が行われる場所を中心に見て回った。

以下、キャンパスツアー後に推薦生に記入してもらった感想より抜粋。

- ・自己紹介のゲームは、少人数なのでお互いに馴染みやすくてよかった。
- ・クイズは難易度が高かったが、グループの皆と交流ができたのでより親睦を深められたと思う。
- ・クイズを通してみんなと少しずつ話せるようになった。
- ・キャンパスツアーでは図書館など大きな建物から小教室まで見学できてとても充実していた。
- ・今までどんな大学生活を送るのかイメージがわかりませんでしたが、説明と案内により色々なことがわかった。
- ・一足先に友達を作れたり、外大生の先輩に直接質問する機会があってバイトやパソコンなどのことを聞けてよかった。

また、個人的な反省としては、

- ・新入生にとってわからないことは何かという想像を少し欠いたため、食堂などですべき案内を飛ばしかける場面があった。
- ・大学生活について、新入生に聞かれても答えられるかわからない点があった。(電子辞書やパソコンなど) 知識不足。



↑集合写真。お越し頂いた推薦生の方、ありがとうございました。